



東北地域の和食文化メールマガジン

令和 5 年 7 月 7 日（金）第 51 号



【目次】

1. 農林水産省「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」(第 10 回選定募集)
2. 農林水産省「日本食普及の特別親善大使」及び「日本食普及の親善大使」について
3. 農林水産省 日本食・食文化の海外発信について
4. 東北農政局 フードバンク活動の推進
5. 鶴岡市「次世代ガストロノミーコンペティション」について
6. 和食会議「子ども和食セッション」(親子体験イベント)の開催について
7. 日本うま味調味料協会「第 8 回 郷土料理コンテスト」エントリーについて
8. 納豆 PR センター「2022 年 納豆真打試験」受験者募集
9. 米穀安定供給確保支援機構「夏越ごはんの日」のレシピ

=====

1. 農林水産省「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」(第 10 回選定募集)

=====

農林水産省は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」と称して、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる事例を 8 月 27 日まで募集しています。

農山漁村の地域資源を引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定・発信し、他の地域の参考となるような素晴らしい取組事例を募集しています。

<募集期間> 令和 5 年 6 月 16 日（金曜日）～令和 5 年 8 月 27 日（日曜日）

<選定結果及び選定証の授与> 選定結果については、令和 5 年 10 月～11 月頃に「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」特設 Web サイト等で公表します。

また、選定された地区には、公表後に都内で開催する選定証授与式で選定証を授与し、交流会に招待する予定です。

（農林水産省 HP）募集の詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/230616.html>

=====

2. 農林水産省「日本食普及の特別親善大使」及び「日本食普及の親善大使」について

=====

農林水産省は、海外への日本食・食文化の更なる魅力発信を通じて日本の農林水産物・食品の輸出拡大に繋げていくため、広告塔として国内外への情報発信等を行う者を「日本食普及の特別親善大使」として、また、プロの視点に立って海外の日本料理関係者等へ助言することなどを通じて、国内外へ日本食・食文化の普及を行う者を「日本食普及の親善大使」として任命しています。

（農林水産省 HP）詳細はこちらから→

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gaisyoku/shokubunka_taishi/

=====

3. 農林水産省 日本食・食文化の海外発信について

=====

農林水産省は、日本食・食文化の世界的普及を図るため、日本食・食文化の魅力を発信する冊子「The Washoku Way -Japan's Nuanced Approach to Food-」を作成しました。
冊子は、「和食の流儀」の日本語版のほか、英語版、フランス語版、イタリア語版がありますので、是非御活用下さい。

（農林水産省 HP）「和食の流儀」は、こちらからダウンロード→

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gaisyoku/pamphlet/index.html>

=====

4. 東北農政局 フードバンク活動の推進

=====

東北農政局は、5月26日及び6月5日に、備蓄の役割を終えた災害時用備蓄食料について有効活用を図り、食品ロスを削減するため、アルファ米 チキンライス 等をフードバンク仙台ほか2団体（うち1団体には宅配便での提供）に提供しました。

（東北農政局 HP）詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syouan/syokuri/index.html>

=====

5. 鶴岡市 「次世代ガストロノミーコンペティション」について

=====

鶴岡食文化創造都市推進協議会は、令和6年に鶴岡市がユネスコ食文化創造都市に認定されて10周年の節目を迎えるにあたり、認定事由の根底にある「郷土料理」や「在来作物」といった食文化や歴史の伝承を強化するため、新たな料理人の大会を開催します。

「郷土料理の再構築又は在来作物の可能性の追求」を大会テーマとし、ジャンルは問わず、市内に約60種類ある在来作物や郷土料理を土台とした創作料理の料理人（鶴岡市内で調理業務に従事する50歳以下）を募集。

<エントリー受付締切> 7月14日まで。

（鶴岡市役所 HP）次世代ガストロノミーコンペティションの詳細はこちらから→

<https://www.city.tsuruoka.lg.jp/shisei/sogokeikaku/syokubunka/syokubunka20230605.html>

=====

6. 和食会議 「子ども和食セッション」（親子体験イベント）の開催について

=====

一般社団法人和食文化国民会議は、7月16日（日）、お子さまに「和食」に触れる機会を提供し、興味・関心を高めていただくことを目的に「子ども和食セッション」を開催いたします。

夏休みの体験イベントとして自由研究等にも役立つ内容で、保護者の方も一緒に「和食っていいね！」を体感していただければと思います。

<場所> 服部栄養専門学校（東京都渋谷区）

<対象> 小学校４・５・６年生と保護者（２人１組）

<参加募集人数> 200組（400名）

<募集締切日> 7月12日（水）定員になり次第締切

<参加費> 無料

（一般社団法人和食文化国民会議HP）「子ども和食セッション」の詳細はこちらから→

<https://washokujapan.jp/kodomo-washoku-session/>

=====

7. 日本うま味調味料協会「第8回郷土料理コンテスト」エントリーについて

=====

日本うま味調味料協会は、よりおいしく減塩されたレシピや現代に合わせて作りやすく工夫された調理方法を、各種メディアや協会サイトを通じて発信することで、環境にも体にもやさしく、かつ作りやすい郷土料理レシピとして伝えて行くことを目指しています。

そして、考案された「おいしい減塩のための工夫」が普段の食生活の改善にも活かされるよう、受賞チームの取り組みを発信していきます。

2人以上のチームで御応募ください。

<エントリー締切> 令和5年8月31日(木)

<応募用紙提出期間> 令和5年6月1日(木)～10月13日(金) 日本うま味調味料協会 必着

（日本うま味調味料協会HP）募集の詳細はこちらから→

<https://www.umamikyo.gr.jp/contest/2023/index.html>

=====

8. 納豆PRセンター「2022年 納豆真打試験」受験者募集

=====

全国納豆協同組合連合会納豆PRセンターは、オンラインで全国どこからでも受験できる「納豆真打試験」の受験者を募集しています。

納豆真打に与えられる様々な「証」を手にし、多方面で納豆の伝道師としてご活躍下さい！

<試験日> 8月27日(日) 11時から、納豆PRセンターのWebサイトの問題公開ページにアクセスし開始。

※試験前に解答用紙（Excelデータ）をダウンロードし、試験当日はその所定の解答用紙に入力し、指定のメールアドレスへ返送して受験完了

<受験料> 4,000円

（全国納豆協同組合連合会納豆PRセンターHP）納豆真打の詳細はこちらから→

<https://www.natto.or.jp/shinuchi/>

=====

9. 米穀安定供給確保支援機構「夏越ごはんの日」のレシピ

=====

夏越（なごし）の祓（はらえ）に「夏越ごはん」。

「夏越ごはんの日（6月30日）」は、雑穀ごはんの上に夏野菜を使った「茅の輪」をイメージした丸い食材をのせた行事食を食べる日。

その昔、蘇民将来(そみんしょうらい)が素盞鳴尊(すさのおのみこと)を「粟飯」でもてなした伝承に由来しています。「ごはん（できれば雑穀入り）」と「茅の輪にちなんだ丸い食材」の2つの要素をおさえれば、夏越ごはんのレパートリーは自由自在。

かき揚げ丼、夏野菜カレー、ビビンバなど、いろいろな味で「夏越ごはん」を楽しみ、食べることで無病息災を祈りましょう。

（公益社団法人米穀安定供給確保支援機構 HP）「夏越ごはん」のレシピはこちらから→

<https://www.komenet.jp/nagoshigohan/>

=====

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：小田桐

TEL：022-263-1111（内 4570）

メールアドレス：keisyonw-tohoku@maff.go.jp

※東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

★農林水産省の Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

☆東北農政局や農林水産省では、このほかにも各種メールマガジンを発行しております。申し込みはこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>